



https://cognitee.com/service

# COG-PRESENは、**プレゼンテーションやPitch** について 3つの観点/12の分析で、プレゼン内容・構成を分析するサービスです。













CHECK1-2 クセを確認 CHECK3 問いかけ CHECK4 情報過不足 CHECK5 論理構成 CHECK6 全文振返り

過去4年間の主要な国内ビジネスコンテストから、 ファイナリスト・優勝者のプレゼン を分析し、チェック要素を見出し、 その傾向と比較できるようにしています。



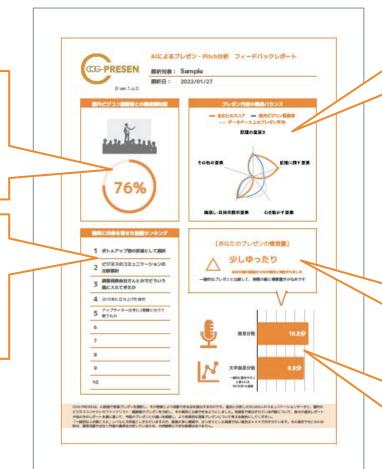
## 表紙でわかること

過去のビジコン優勝者に共通する要素・構成と、どのくらい共通点があるのかを 「%」で示しています。

80%を超えてくると、類似していると言えます。

独自の蓄積データから、そのプレゼンを聞いた人にとって印象に残る話題について、 ランキング形式で表示しています。

しっかり説明している・納得するような構成になっている場合は、ランクが上がりやすくなります。



過去のビジコン優勝者と、その他 これまでのプレゼンデータの平均 値と、あなたのプレゼンについ て、どのような要素が含まれてい るかを示しています。

- 話題の豊富さ・・・盛り込む話題が多すぎないか・少なすぎないかを示します
- 心を動かす要素・・・背景理由や、思いなどを 多めに説明していると増えます
- 記憶に残す要素・・・データ・スペック・価格など、数値や客観的な情報があると増えます
- 繰り返し・具体的説明要素・・・一度話した話題を再度掘り下げる・具体的に説明するなどが多い場合に増えます
- その他の要素・・・挨拶や懸念など本論から逸れた話題があると増えます

録音長と文字数を照らし合わせ、 一般的に心地よいとされる300文字 /分よりも、情報量が多いか少ない かを示しています。

録音分数・・・実際にお預かりし た録音長が表示されています。

文字換算分数・・・300字/分換算で、同じ内容を話すなら、何分くらいが適切かを示しています。



## 【CHECK1・2】でわかること

「あのー」「えー」など、フィラーと言われる 不必要語句が何回使われたか を検出しています。

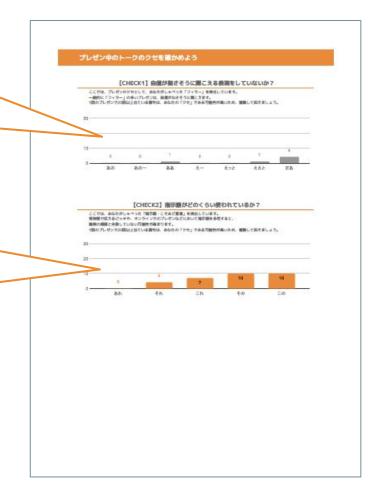
プレゼンの長さにもよりますが、1度のプレゼン中に20回以上検出された場合 は、自分のクセである可能性が高くなります。

フィラーは、聞き手が気にし始めると、内容をじっくり聞いてくれなくなった り、自信がなさそうに聞こえてしまったりというデメリットが生じます。

プレゼン中に使われたこそあど言葉(指示語)の数を検出しています。 プレゼンの長さにもよりますが、1度のプレゼン中に20回以上検出された場合 は、自分のクセである可能性が高くなります。

特にオンラインでのプレゼンの場合、指示語を多用すると 聴衆にとってわか らないまま話が進んでいる懸念があります。

あまりにも多い場合は、具体的な用語で置き換えて話ましょう。





# 【CHECK3】でわかること

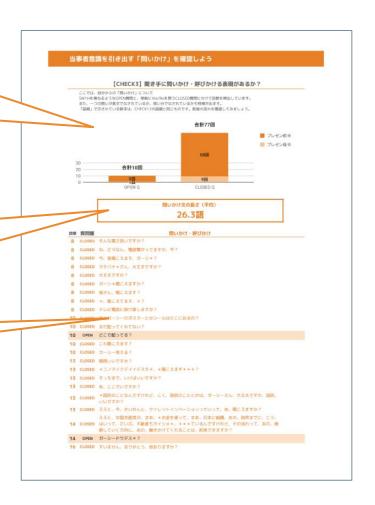
聞き手に対して「問いかけ・よびかける」ような発言があった場合に、その回数が、問いかけの種類別で、プレゼンの全港湾に分けて検出されています。

- ・OPEN Q・・・5W1Hのような、Yes/Noで答えられない質問 (深く・自分ごととして考えさせるときに有効)
- ·CLOSED Q···Yes/Noで答えられる単純な質問

問いかけ文が、どのくらいの文章の長さだったかを示しています。 長すぎても、短すぎても「何を問われているのか」わかりにくくなりますの で、適切な長さを意識する必要があります。

(プレゼンでの問いかけの場合、20~30文字が標準的)

実際にどのような問いかけ文が話されたかが、列挙されています。





### 【CHECK4】でわかること

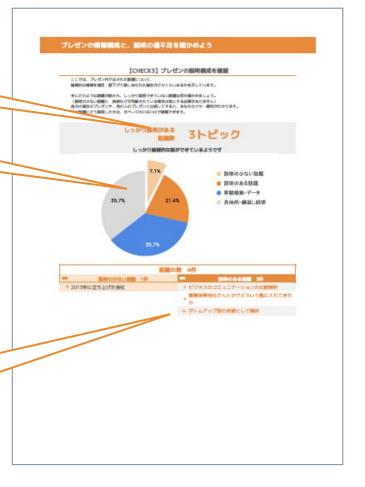
しっかり説明をしたトピック数が数字で表れています。トピックに対して、説明量・構成のバランスが崩れているときは、アラート文が出ています。

プレゼンの中の説明構成が、どのような要素で構成されていたかを パイチャートで示されています。(詳細は、CHECK4で確認できます)

- 説明の少ない話題・・・話された主なトピックのうち、根拠や具体性など何らかの補足説明が十分にされていない話題の割合が出ています。【優勝者のプレゼンでは0~3%】
- 説明のある話題・・・話された主なトピックのうち、根拠や具体性など何らかの補足説明がされた話題の割合が出ています。【優勝者のプレゼンでは25~40%で、多めが良いようです】
- 記憶に残す要素(客観・データ)・・・オススメしたい内容などの主張に対して、データ・スペック・価格など、数値や客観的な根拠として提示した割合が出ています。【優勝者のプレゼンは10%以上あり、多めが良いようです】
- 心を動かす要素(理由・ニーズ)・・・・オススメしたい内容などの主張に対して、その背景理由や思い・課題感・ニーズなど、感情に近い根拠を提示した割合が出ています。【優勝者のプレゼンは18~24%の間にあります】
- 繰返し・具体的説明要素・・・一度話した話題を再度掘り下げる・具体的に説明した割合が出ています。【優勝者のプレゼンは35~37%で、60%を超えることはありません】
- その他の要素・・・挨拶や懸念など本論から逸れた話題の割合が出ています。

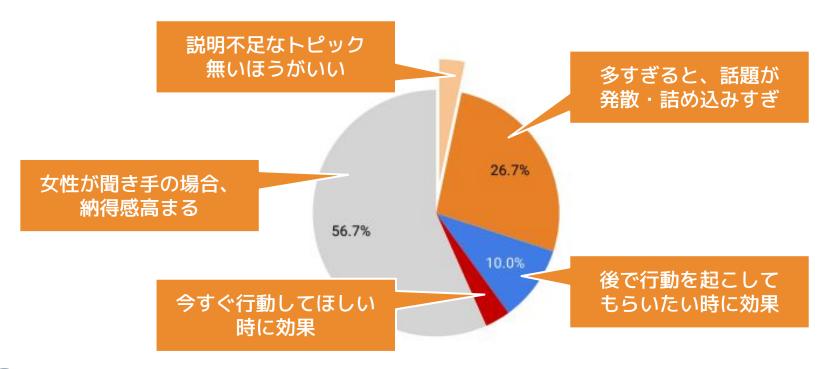
パイチャートの中の「説明の少ない話題」と「説明のある話題」が、それぞれ どの話題が対象だったかを列挙しています。

説明の少ない話題は、もっと説明が必要な可能性があります。ここに、挨拶などが検出されている場合は、改善を気にする必要はありません。



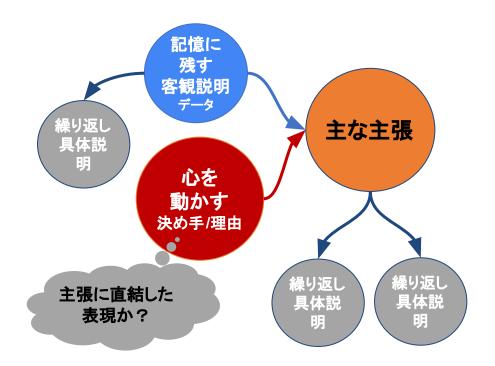


#### 補足:データからわかっていること





# 補足:説明構成の検出の仕方





## 【CHECK5】でわかること

話された主なトピック毎に、その話題に対して説明された内容が列挙されています。

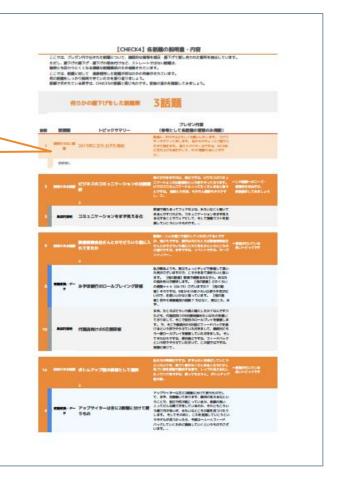
説明量の多さ、説明の種類を確認し、十分・不十分を振り返りましょう。説明無しと書かれている話題は、更に補足できないか改善案を考えてみましょう。 (挨拶などが検出されている場合は、必要ありません)

オレンジ色(もしくは薄オレンジ)の背景になっている箇所が、「主なトピック」として検出された話題です。

実際に話された内容の冒頭 が切り出されて表示されて います。

オレンジ色の下に、薄い色の背景で表示されているのが、その「主なトピック」への説明として検出された内容です。 CHECK3で示されたパイチャートに基づいて、色付けされています。







## 【CHECK6】でわかること

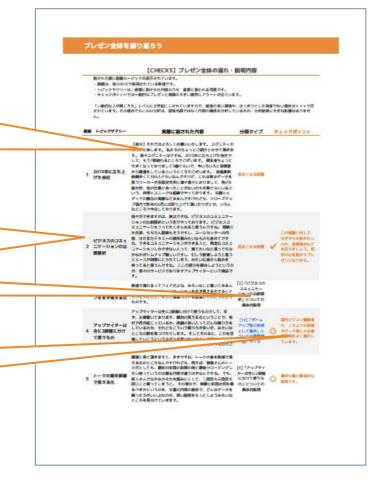
話した内容全文が書き起こされています。全体を振り返ってみましょう。

周辺ノイズや声が遠いなど、聞き取りにくい箇所は「\*」で書かれています。 方言や固有名詞も、一般的な人が「聞こえた通り」に書き起こされていますの で、滑舌なども確認してみましょう。

話した内容を意味のまとまりでパラグラフ分けし、そのパラグラフ内で一番重要と思われるキーワードが抜き出されています。 このキーワードだけを上から順に読んでいくことで、要点がつかめるかも確認してみましょう。

分類タイプは、CHECK3・4で示された分類に準じています。どの話題が、どう 分類されたのかを振り返り、自分のトークの偏りを確認してみましょう。

国内ビジコンの優勝者・ファイナリストの傾向と比較して、乖離している箇所には「✓」が付き、類似している良い箇所は「◎」が付いています。同改善するとよいか、考えてみましょう。





#### COG-PRESEN導入実績

- 地方創生系ビジネスコンテスト
  - 品川ビジネス創造コンテスト
  - とくしまビジネス創生アワード
- スタートアップ向けビジネスコンテスト
  - 監査法人主催ビジネスコンテスト
  - 海外在住スタートアップ向けビジネスコンテスト
- 研修運用企業向け
  - 企業向け研修内:日本語 プレゼンテーション分析
  - 企業向け研修内:英語 プレゼンテーション分析
  - 社会人向け英語教育プログラム:英語 自己PR分析
- 製薬会社 マーケティングプレゼン分析人材派遣会社 採用時の自己PRプレゼン分析

